

多次元造形研究センター2号館リニューアル開所記念式典を開催しました

事務部 庶務係

2026年7月3日、吹田キャンパス内の荒田記念館大ホールにおいて、「多次元造形研究センター2号館リニューアル開所記念式典」を開催しました。当日は、産官学の関係者約140名が出席し、2号館の本格稼働を祝いました。

本式典は、経済産業省「地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備」に採択された「3次元造形／接合分離産学融合拠点」の整備事業の一環として実施されたものです。式典では、熊ノ郷淳大阪大学総長による開会挨拶に続き、経済産業省の菊川人吾イノベーション・環境局長から来賓挨拶がありました。また、接合科学研究所長の藤井英俊教授が整備事業の概要や今後の展望を紹介し、大阪大学大学院工学研究科の松崎典弥教授による記念講演「食の立体造形学—3D プリントが変える肉の工業化」が行われました。

多次元造形研究センター2号館では、企業との共同研究・実証を促進するオープンラボを整備するとともに、「3次元造形／接合分離シミュレーター」整備され、研究開発から社会実装までを担う産学融合拠点としての機能が強化されています。

式典終了後には見学会を実施し、接合科学研究所が世界をリードする青色レーザ造形、固相金属造形、セラミックス光造形などの先端技術や研究設備を紹介しました。参加者からは高い関心が寄せられ、接合研の技術力と研究成果を間近に体感いただく機会となりました。見学会は終始活発な質問や意見交換が行われるなど、大いに盛り上がりました。

接合科学研究所では、今後も多次元造形研究センター1号館・2号館を活用し、独創的な3Dプリンティング技術のさらなる高度化、産学官連携やスタートアップ創出による研究成果の社会実装、高度な資源循環を実現する革新的ものづくりプロセスの構築を推進し、大阪・関西から世界をリードするイノベーション創出拠点として、次世代ものづくり技術の発展に貢献していきます。



左から熊ノ郷総長、菊川経済産業省イノベーション・環境局長、藤井所長



見学会の様子（左から菊川経済産業省イノベーション・環境局長、藤井所長）